

第11回地域教育実践交流集会 実行委員アンケート まとめ

1 内容面

(1) 歓迎アトラクション

- ・ 歓迎アトラクションで場が和んで良かったと思います。
- ・ アトラクションについては、内容によって違ってはくるものの、出演時間が短すぎると出演者側に物足りなさが残り、長すぎると観る方がだれる場合もありますが、今回の内容と出演時間に関しては、20分がちょうど良かったと思いました。
- ・ 華やかなアトラクションで良かったです。幼児の可愛さが会場内を笑顔にしていましてね。時間的にも、短くて、きりっとしまっただけ良かったです。
- ・ フラダンスは、子どものアクシデントが逆に和やかな雰囲気を作り出して良かったと思います。(アトラクションが一つで良いかどうかは・・・)
- ・ 今回の歓迎アトラクションで、参加者の緊張が随分和らいだ気がします。子どものかわいらしさと危うさは魅力的だと実感。
- ・ 歓迎アトラクションは大事です。やはり最初は皆さん固い印象を受けました（私も含め）。
- ・ 場のなごむよいアトラクションであった。活動の趣旨も、地域に関わっており、本大会に合致するものであったと思う。
- ・ 子どもたちの活動なので、とても笑顔になることができた。良い雰囲気になった。このフラダンスの主催者から、この活動に取り組んでいる思いや願いについてのより詳しい説明を聞いたかった。
- ・ アトラクションは微笑ましく、スタートとしてのほんわかしたムードをつくっていただいた。
- ・ 子どもたちの入場時に、誘導役がいなかったなので、その辺にいる人たちが臨機応変にステージへ案内してくれていた。(榎木さん)
- ・ かわいらしく、とてもほほえましいアトラクションでした。会場を和やかな雰囲気にさせてくれました。とっても良かった。
- ・ フラダンスがとってもかわいかった。来年の、南予ブロック集会にお呼びしたいと思っています。
- ・ ほほえましく、和やかな雰囲気でスタートできたと思います。子どもたちのフラに癒されました。
- ・ 参加したほとんどすべての方に笑顔が生まれたという意味で非常によかったと思います。
- ・ 小さな子どもさんが出演してくださると会場が和んでいいなあ、と思いました。

(2) 趣旨説明

- ・ 初参加の学生から『「地域教育って?』と思っていたので、趣旨説明があつて良かった。』との感想がありました。

- ・ 参加者が地元に戻ってから普及活動？する際に使えるよう、持ち帰り資料にしても喜ばれたかも。
- ・ 趣旨説明は、違和感なく集会のコンセプトがよく理解できました。分かりやすくよかったです。
- ・ 趣旨説明は、初めて参加した人にもわかりやすく、何度か参加している人には理解が深まる内容だったと思います。
- ・ 司会、趣旨説明、ダンスチームの方等関係者各位には、本業の合間で準備されているのには頭が下がります。
- ・ 趣旨説明はこれまでの経緯を工夫して説明されており、とても分かりやすかったです。
- ・ 趣旨説明は、もっとくだけた感じで、でも意図する目的は伝わるように、というテイストの方が個人的には好みですが、内容としてはよいと思いました。

歓迎ワークショップ

- ・ 歓迎ワークショップも毎年、地元を持って帰ってネタにさせてもらえる内容で助かっています。今年も楽しませてもらいました。ありがとうございました。
- ・ アイスブレイキングはいつも通り浅野さんの軽妙なMCとアイデアで非常に良かったです。
- ・ 歓迎ワークショップはいつも楽しい雰囲気なのですが、座る回数が多く、また座る時間が長いので、辛い、しんどいという方が多いと思います。そういう方が何人もいました。
- ・ 歓迎ワークショップは大変流暢な流れで自然に交流が開始できました。お見事でした。
- ・ レクリエーション、年々楽しくパワーアップしています。初めての人とたくさん話せて、一気に交流集会モードになりました。
- ・ 会場が一気にまとまった感じ！参加者の緊張がほぐれ笑顔がたくさん見られました。

(3) 分散会

- ・ 同じ分散会の方も、別室で事例発表した学生も「プログラム見た時は、『時間長すぎ〜』と思っていたが、実際にはあっという間だった。」と。
- ・ 会場責任者の運営が手慣れていて、安心感がありました。
- ・ この集まりに出席させてもらうようになって、今回3回目にして初めて司会をやらせていただきました。反省点は多々あるものの、自分なりに、これまでの2回の参加で、自分が聞きたいと思ってなかった事例や、専門でない分野の事例に参加することになった場合、広く浅くすすめてもらったり、分野問わずに共通してくる地域づくりや社会教育のあり方やキーワード的なことや手法について拾ってくれる司会をしてくれる方がありがたかったりしたので、その点を心がけようとしたら、予習がとても大変でした。しかし、それが、忘れていたことを思い出したり、自分の考えを再考で

きたりして結構ありがたかったです。また、話を進める中、発言のない人がちょっと顔あげてくれたときなどに、あえてその話題からの話の広がり集中して、その人から発言をもらえたときの「よっしゃ」感。相当緊張していたものの、結局は、事例発表者と多くの参加者からの積極的な意見のおかげでどうにか3時間をやり切れました。ということで、分科会は、参加するより司会する方が自分のためになるので、みなさん、来年からは、ぜひ司会役を進んでひきうけてもらいたいと思いました。

- 時間は、足りないぐらい充実していました。発表者の説明が少し長くて・・・もう少し分散会参加者の意見が聞きたかった・・・なあ。
- 今回も会場責任者をさせて頂きましたが、事例発表者、司会者、記録者共に事前連絡等スムーズに運び、当日打ち合わせも問題無く出来ました。分散会自体も和やかな雰囲気の中で例年通り出来たと思います。ただ、事例発表の20分の徹底（タイムキーパー）はあった方が良かったかも。
- 発表者が掲示物を持参していたので、急遽ホワイトボードをお借りしました。事前打合せ不足を痛感しています。
- プロジェクタから投影された映像が見えにくい会場もあったようです。天候にもよりますが、明るい会場には優先的に性能のいいプロジェクタを置けるように手配、もしくは遮光できる工夫ができればいいと思います。
- 第5分散会でしたが、質問を繰り返すと話し合いの時間が短くなるので、司会者打合せで、できるだけ質問を繰り返さないで進行するようにしていただけるとありがたいです。会は、参加者の活発な協議ができました。
- 司会をさせて頂きましたが、班員の年齢バランス、個性のバランスが良く、進めやすかった。班員に恵まれたと思います。丸腰に近い状態で司会に臨んでおり、ほっとしているのが正直なところです。
- 充実した分散会であった。
- それぞれの活動に込められた思いを知ることができ、今後の活動のエネルギーをもらうことができた。みんなが自分の意見を発表できるような雰囲気があり、よかった。もっと時間があれば、より深く、交流できていたように思う。もう少し時間が欲しかった。（時間はいくらあっても足りない雰囲気だった。）
- 参加人数も適切であり、大体の参加者が主体的に意見を述べていた。
- 設備面や機器などにも特に問題はなく、円滑に実施できた。
- 初めて参加された方も多くいたが、発表の内容や発表者、参加者の熱い思いに触れ、エネルギーをもらってとてもよかったという声を聞くことができた。
- 3本とも、思いのこもったすばらしい発表でした。質疑応答中心で時間が過ぎている、広げたり深めたりすることができなかつたのは残念でした。空白の時間がほとんどない反面、言いたいことを飲み込んだ人も多くいたような気がします。会場責任者として、より多くの方が話せるように配慮ができなかつたことを反省しています。（分散会2）
- 第8分散会は、大学生8人が発表者で参加したため、分散会自体の参加者が少なく

なっていました。発表者の人数が多くても、他の参加者は他の分散会並みに来てもらった方が話し合いは盛り上がったと思います。多めに来ても大丈夫なように会場準備もしていました。

- ・ 司会の人の方が明るい方で、3時間の分散会を明るい雰囲気を進めていただきました。
- ・ 延長コードが短く、機器に届きませんでした。隣の教室のコードに予備があったので、使わせていただきました。
- ・ それぞれの事例発表に考えさせられ、地域で活動する人たちの力を感じることができました。司会・会場・記録の担当者のおかげでスムーズな進行と意義ある内容でした。初めて地域教育実践交流集会に参加した人たちは、くじ引きで分散会を決める方法に戸惑いがあった様です。しかし、自分の思惑とは異なる分散会に出席したことで新たな発見・出会いになったと話していたことが印象深いです。
- ・ どの発表もすばらしかったです。司会進行も上手で、みんなの意見や感想を引き出されていました。
- ・ 市ヶ尾高校の発表がすばらしく、若い方の刺激を受けていました。
- ・ 参加者の年齢層が10～80代と幅広く、いろいろな話が聞けました。
- ・ 発表内容については、それぞれ素晴らしい取組をされていて学ぶべきことが多くありました。資料・プレゼンについては、依頼する段階でもう少し、「参加者がランダムに参加しそれぞれ知識量もバラバラであることを前提にした資料・説明」にしてほしい旨依頼する方が、誰でもわかりやすい発表となるのではと感じました。(来てはじめてなんにも知らないひとに説明することを知る方もいたかも)
- ・ 皆さんがやり方に慣れてきて質問もたくさん出て良い分散会になりました。司会者も記録者も完璧でとてもよかったです。

(4) 出合いの広場・交流会

- ・ 出合いの広場では簡単な名刺交換だけではなくじっくりお話をされている姿も見ましたので、何か所かに椅子を置いておいても良いかなと思いました。
- ・ 自然発生的に交流が開始され、名刺交換や談笑などが行われていた。
- ・ 出合いのひろば・交流会は、新しい出合いも多く、例年通り楽しくすごさせてもらいました。
- ・ 交流会では同じテーブルの方から「これだけ県外からの参加者も多いのだから郷土料理を出せばよいのに」との声がありました。
- ・ アルコールを飲まない私は お茶が欲しかった・・・テーブルに1本もなくて・・・
- ・ 座る場所により声が聞こえにくかったというご意見をいただきました。来年も機材の持ち込みをご許可いただけるようならセティングを考えたいと思います。
- ・ 個人的には、交流ができていようで触れ合う対象は限られていたと思う。ただし、ここは工夫のしようもないと思います。(こんなもんだと思います。触れ合っていないようで触れ合っている気がします。)
- ・ 食べながら飲みながら、楽しく交流の時間を過ごすことができた。

- ・ みんなが片付けをしている時に、何もせず楽しそうに話が盛り上がっている一部の
人たちに、少し酔いがさめました。楽しく飲んでしゃべって、片付けになったら一致
団結！地域教育の実践家、かっこいい大人にふさわしく！
- ・ オークションは、後ろの方はなかなか様子が分からず、なんとなく雰囲気伝わっ
た感じだったが、それはそれでそんな感じでよかったとも感じた。
- ・ 西山先生、武智さん、谷川さんをはじめ、多くの人が計画、準備、熟演されたこと
によって、その思いに触れ、温かい空気の中で懇親できた。ありがとうございました。
- ・ 食事の量は適量でした。和室の2次会は、後片付けもして解散されたようでした。
どなたかが号令をかけてされたみたいです。
- ・ 食べて、飲んで、話して！大いに深まった交流の場でした。西山先生・谷川さんと
の司会進行は勉強になりました。「55の会」への時間提供ありがとうございました。
美味しい料理にも感謝です。
- ・ 相変わらずすごい熱気で、ある意味完成されていると思います。(いろいろなレベ
ルのハラスメントが点在している気はしますが、いまさらどうにもならないと思いま
すし、盛り上がり後押ししていることは事実です)

(5) めざまし企画 おでん∞C a f é

- ・ おでんカフェは、説明、進行、時間配分もちょうど良かったと思います。
- ・ ボードへの書き込み具合には差が見られたので、「なんでも書く」の意識を持って
もらえるように。
- ・ 今回、ホストをやらせてもらいました。時間制約がある中、数分ごとにメンバーが
入れ替わり、しかも前のメンバーからの話題を広げていったり、また前のテーブルで
消化不良だった疑問を新しいメンバーに再質問してきたりで、テーブルが変わるたび
にみんなもこなれてきて、必ず何か話さなければならないが、時間がきたら次に行く
ので、理論的な話ではなく、部分的・点の話がどんどんでてくる、でもその点や部分
的な話題はすごく大事であることや役に立つことが多く、適度な緊張感とテンポの良
さは、ライブ感あふれるいい手法だったと思います。また模造紙への書き込みも、お
のずからファシリテーショングラフィック仕様になり、話し合い以外の側面からも役立
つものでした。あっと間に時間が過ぎてしまうことも特筆ものでありました。
- ・ おでんカフェは、発想が新しくて大いに楽しめました。小物のアイデアも抜群でし
た。
- ・ 説明の時、昨日の様子をスクリーンに映した効果は高かったように感じました。映
された写真を見て蘇った記憶も多かったです。
- ・ 地域教育実践交流集会のコンセプトとワールドカフェ方式で行う対話がうまくリン
クし、効果的なワークショップになったように思います。
- ・ 時間も適当で、もっと話したい、もっと聞きたいという気持ち、次の鼎談への期
待をさらに高めたように感じました。
- ・ 会話が続かなかつたらどうしようと思っていましたが、時間が足りないぐらい活発

な対話が行われ、全くの杞憂に終わりました。

- ・ 「全員参加」で、みんなが活躍することができてよかったですと思います。地域のために、地域と共にどう生きるかというテーマでの話合いはとても良いと思います。マイク代わりのアイテムは、殆ど使われてなかったのではないのでしょうか。必要ないかなと思いました。
- ・ 回転が早いのでいろいろな方と顔を合わすことができました。皆さん、大きな結論は同じであり、結論の深まりに持っていくのは難しい。(司会の腕の見せ所です。) ここのテーブルの司会役、私が手を上げましたが、事前に聞いてはなかったもので、少し油断していました。かと言って、他に役にも立っていなかったもので、自分で手を上げたのですが、司会をするのであれば、もう少し心構えが必要だと思いました。でも無事終わってよかったです。
- ・ 最初は堅い雰囲気であったが、時間の経過とともに、うちとけた雰囲気が広がり、有意義な話合い活動になった。
- ・ ワールドカフェ方式で、多くの参加者とそれぞれの思いをコミュニケーションできた。
- ・ ワールドカフェ方式により「ある課題を解決する」のではなく、「感想を言い合ったり、膨らませ合ったりする」ことが効果的かどうか分からなかったが、実際に行ってみて、互いの思いをどんどんつなげていくことは、多くの参加者にとって心地よく、やる気やエネルギー、ヒントなどにつながったと感じられた。
- ・ 灘岡さんも大変であったと思うが、段ボールテーブルもナイスで、とてもよかった。段ボールテーブルの距離感がよかった。
- ・ どのグループも話が弾んでいました。お題が限定的でなかったため、話題に自由度があり話しやすかったのだと思います。全体で紹介してもらいたいグループがいくつもありましたが、時間の制約があるので仕方ないですね。各班のホスト役もバッチリでした。
- ・ いい企画だったと思います。いろんな方々と話げたのは、とても刺激になりました。まさに目が覚めました！
- ・ 当日になって、グループのファシリテーターをお願いしましたが、皆さんさすが社会教育の強者、快く引き受けてくださりました。でも、前もってお願いしておく方がいいのではないかと思います。(出会いの広場の時間とか)
- ・ 多くの人と話す時間を持てたことはとっても良かったと思います。お題を変え、来年もぜひやってみたいです。
- ・ 大学生の手紙の中に、「自分の書いた言葉に、新しい言葉が書き加えられていたことに感動した」という内容があった。
- ・ とても実りある内容でした。参加者各自がテーマについてしっかりと考え、そしていろいろな人と話すこと・聞くことで、更に自分のことを見つめ直し、可能性に気づく時間と場だったと感じます。最高に良かったです。構成や、もろもろ勉強になりました。来年も取り入れたらと思います。
- ・ いろんな方との出会いの場となり、とてもよい試みでした。

- ・ 段ボールを膝に乗せることで、互いが近くなり、親近感を感じました。
- ・ 進行がとても上手でした。話合いの時間もちょうど良かったです。
- ・ 他県の方が、感想だけでなく、他のテーマでの話合いもあるとよかったと言われていました。
- ・ 初めての企画を楽しく参加させていただきました。各グループに集まる人が違えばおでんの味も違いますが、継ぎ足しながら味を深めていく手法は新鮮でした。話合いの中では、若い世代と大人をつなぐ役割（コーディネーター役）の重要性をあらためて感じました。
- ・ 各テーブルのファシリテーション力量をもっと上げていって、拾えない人がいないよう次回以降につなげていけたらと、自分自身を省みて感じました。

(6) 特別企画 鼎談・閉会行事

- ・ あのお二人を取り仕切られていた柴崎さんに大きな拍手を送りました。見事な手綱さばきでした。ありがとうございました。
- ・ 軽やかな時間配分で満足しています。
- ・ 有識者の講演でもなく、研究者の講義でもなく、実践者からのメッセージをいただけた鼎談だと感じました。ステレオタイプの答えを押しつけることもなく、一人ひとりに自分のこととして考えさせるような進行は、会場を置いてけぼりにせず、逆に一体感が強くなる構成になっており、少しもだれるところはなかったように思います。
- ・ 本来は、ここで会場から参加していくと盛り上がるのかな、と思いましたが、自分が何を発言するか、発言できるか、イメージができずまだまだ力不足を実感しております。
- ・ 楽しい雰囲気の中で行われた話の端々に、キラッ、キラッと光るものがあり、とても勉強になった、雰囲気も内容もよかった。
- ・ 失礼だとは思いますが、今年は深まりが今一つだったと、私だけかもしれませんがそう思いました。登壇者が、「何も考えてない」というような発言をしてしまうと、がっかりします。
- ・ 私にとっては、鼎談がまず読めないところから始まりましたが、柴崎さんの見事な司会により、キャラクターの異なる濃いお二人の言葉や思いがよく伝わり、またフロアの参加者ともつながることでみんなが学習し合う場になった。お見事でした。
- ・ さすがの顔ぶれで、3名の含蓄のある話がストーンと心に落ちました。交流集会の締めくくりにふさわしい、深みと味わいのある鼎談でした。
- ・ 登壇者の先生方のお話は、楽しく、勉強になるものでした。これからもっと社会教育を頑張っていこうという気持ちになりました。
- ・ お三方の掛け合いが絶妙で全然眠くならなかったです。二日酔いの日はしんどいはずなのに、不思議です。逆に、どんどん目が覚めていきました。
- ・ 登壇者の掛け合い！？のテンポがよく、内容ともにひき付けられました。会場全体で内容を共有する形は、自分の事として一生懸命考えるので、アンテナを立てること

ができる良い方式だと思いました。

- 3人の雰囲気がとてもよくて、楽しく聞かせてもらいました。進行が上手で、和やかな雰囲気でした。
- 企画の中で「かっこいい大人」というキーワードがありましたが、背中を見せるというか、もっと身を引き締めないといけないという気持ちで拝聴しました。また、地域の中では、終わりのないまちづくりを次の世代にどうつないでいくかという課題があります、若い人の話を聞く場と耳が必要だと思いました。
- お三方の話術に引き込まれました。2日間を振り返るべの企画としても、とてもよいと思います。お三方以外の方で同じことができるのかというくらいでした。
- 閉会行事では、真鍋副実行委員長さんの人柄で温かく終えることができたと思います。

2 企画面

(1) ゴングの会・部会・定例会

- ちょうどよかったです。
- 香川から参加したいのですが、都合がつかないことが多くて欠席ばかりしています。ご理解いただき仲間に入れてくださり感謝しています。
- ゴングの会は例年通りあの時期で良いと思います。定例会について、開催回数は4回ぐらいが妥当だと思います。会議資料等非常にわかりやすく良かったと思います。
- 回数、開始時間は適当だと思いますが、事務局の方々の負担増だけが心配です。
- 可能な範囲で参加させていただきました。この時からどれだけ本気で関わっていかれるかが大事だと思います。
- 全部に出席できなかつたのですが、出席した会では、内容もよくわかり、短時間で効率よく進んでいたように思います。
- きっちり時間を守って協議しているおかげで決めるべきことをしっかりと決めることができた。
- 人によって準備の量がとても多かったと感じており、申し訳なく、また感謝しています。さらに振り分けられるところは振り分けてもらったり、自分で準備させてもらったりして、皆さんが無理なくできるようにしたい。
- 定例会や部会の段取りや準備等、お世話になりました。十分な協力ができなくて申し訳ありません。
- 仕事の関係で、直前の会にしか参加できませんでした。なるべく参加できるよう、努力したいです。
- 実施に向けてのプロセスがしっかりとしているので、振り返りをしても、きちんと確認ができました。開催日時・回数とも、個人的には良かったのではと思います。
- 結果として尻すぼみの参加になり、後半全然参加できませんでした。企画等を練り上げていただいたみなさんに恐縮です。(参加できていない身で言うのも憚られます)

が、) 情報共有の観点からも定期的な会は必要ではないかと思えます。

- ・ 運営部会においては、メールでの連絡体制を構築し、企画段階での部会を開催した。以後は、定例会での連絡・打合せで終わってしまいました。県内各地からの部会参加になるので、あまり負担とならないように配慮できたが、部会の運営や役割については今後検討する必要がある。

(2) 準備

- ・ お世話になりっぱなしで申し訳なかったです。ありがとうございました。
- ・ なにかお手伝い出来ればと思っていますが、すみません。発表者と同行するとどうしても 11 時前の到着になってしまいます・・・
- ・ 会場の事前準備（前日及び前々日）は 5～6 年前から始めましたが当日朝の事を鑑みても絶対にしておくべきだと思います。今回も分散会会場責任者をさせて頂きましたが、事例発表者、司会者、記録者等、事前連絡及び当日打ち合わせもスムーズに行き良かったと思います。
- ・ 司会者の決定がもう少し早ければ、分散会運営についても一緒に考えられるかな？と思いました。
- ・ あまりお手伝いできませんでしたが、関係者皆様には頭が下がります。
- ・ HDMI 対応の 프로젝タを揃える必要がある。市町の 프로젝タは HDMI 対応が多い。(伊予市、松前町、東温市) 来年度は、市町から借用できないか。
- ・ 一部の方に負担をお掛けしているのではと、申し訳ない気持ちです。
- ・ 2 日前の準備、当日朝の準備に参加した。段取り良く進めることができていると思います。たくさんの人に支えられて交流集会ができるのだなあと、改めて感じました。
- ・ おでんカフェの計画説明から準備まで、灘岡さんにすべてをお任せしてしまいました。すみません。
- ・ 会場準備にかかった時間は、1 時間ちょっとでした。もっとかかると思っていたので驚きです。仙波さん、中尾さん、長島さんの事前準備のおかげだと感じました。
- ・ オークションまでの進行を盛り上げ、楽しんでもらえるように、というテーマのもと「チームにしやま」諸々の準備をしました。
- ・ HDMI 端子用のアダプターが大洲に 3 つあり、助かりました。
- ・ お手伝いできていないので申し訳ありません。長年のノウハウの蓄積で、必要十分な準備になっているのではないかと思えます。お金の授受管理やくじ引き等の流れ、仕組みについてはなんとかならないかなと思えますが・・・

(3) 当日の役割分担、運営等

- ・ 当日の役割分担については、受付、現金の授受、分散会のくじ引きの動線計画を見直した方が良くと思います。受付をして参加料を払って分散会くじ引きをして自分の名札を取るという流れが明確で無い為にくじ引き忘れがあったり名札の取り忘れが

あたりしした為。

- ・ みなさん自分の役割を熟知しており、問題ないように感じました。ただ、うまくいっていることにより、役割の固定化や、次代への引継ぎが心配ではあります。
- ・ 武智さん、谷川さんと3人で、水戸黄門で交流会を進行させていただきました。参加者の皆さんの温かい寛容の精神で、何とか務めを果たせました。
- ・ みなさんが意欲をもって取り組んでいたのも、臨機応変にできており、滞って困ることはありませんでした。
- ・ みんなが集い、交流が始まってしまうと、まあみなさん本部や人の話、アナウンスを聞かない・聞けないので、その辺をどうするか。
- ・ 夜の懇親会の片付けについて、「へべれけ集団」にも関わらず、自然発生的にみなさんが動いてくれ、「やや正気の方」の指示により、スムーズに片付いたと感じた。
- ・ 細かくいろいろ決めていなくても、気付いた人が気付いた時に動く。
- ・ 分散会の会場責任者をしました。メールでこれからすべきことを逐一連絡してもらったので、余裕をもって、報告者・司会者・記録者等と連絡を取り合うことができました。
- ・ 「チームにしやま」水戸黄門・助さん・格さんをやりました。皆さんの協力のおかげで楽しく進めることができました。ありがとうございました。
- ・ 当日は、会場責任者の仕事しかできなかつたので、もっと他の仕事の手助けができればよかったです。受付の仕事に関わるべきでした。
- ・ お金の授受管理やくじ引き等の流れ、仕組みについてはなんとかならないかなと思います。
- ・ ネットワークえひめのフェイスブックページを立ち上げたが、もう少し活用できれば良かった。運営委員の中から複数の投稿者を確保し、県内の実践事例を取り上げ、会員同士の交流の場を作ればよいのではないか。(フェイスブック最大閲覧者1,500名)

3 その他

- ・ 来年は、事例発表者の推せんができるよう頑張りたいと思います。
- ・ この集会に参加することで、私自身に気力がよみがえります。ただそれだけです。なにもお手伝いできずに 実行委員の名前を汚しております。しかし図太く来年の開催を期待します！！みなさんお世話になりました。
- ・ 事後報告になりますが、交流集会終了後、私たちが制作しているコミュニティFM番組「海アフロ」の収録を行いました。メインMCが分散会の発表者として参加させていただいたので「交流集会参加」を話題の中心として、12月6、7、8日に放送されました。なお、少しでもお役に立てればよいなと思い、エンディングで各地区ブロック集会開催の広報もさせていただいておりますことご了承ください。
- ・ 宣伝をさせてください。県内でのイベントや集会等の開催について広報の必要があ

ればご出演いただくことも可能ですので、お気軽にご相談ください。Hello! New 新居浜FM（新居浜市）、FMラヂオバリバリ（今治市）、FMがいや（宇和島市）の愛媛県内のコミュニティFM局3局をネットしており、毎週放送しております。

- 自分自身が初参加でやや不安もあったが、始まってしまえばさすが社会教育の実践者たちだった。自分だけ思いを話すだけでなく、人の思いにも寄り添い、心地よい空気をみんなで作りあっていた。人に語る事が苦手な私でも自然に気持ちや考えを述べる事ができた。
- 同じ分散会の参加者の方も「今までで参加した会の中で一番楽しくて意義のある会だった」「来年は知り合いを連れてまた来ます」という声をいただき、うれしく感じた。
- 自分自身が少し成長できた2日間となりました。
- 分散会の発表者が多数、また付き添いがある場合、発表者以外の参加者が少なくなります。くじで分散会を決めることをお知らせしているところですが、初めて参加する発表者（団体）は不安であるため、そのような状況になるのは仕方ないかもしれません。今回いくつかの分散会で発表関係者の割合が高くなっていったと思います。組合せ段階で発表者の多い団体を分散すること（これは配慮していただいていたと思います）、予め発表者の多い分散会は人数枠を多めに設定（くじで参加する数を各分散会で均等にすると）、大きめの部屋を割り当てること等の工夫が必要かと思います。また、年齢層、男女別にくじを引いてもらうようにして、老若男女入り混じっての構成にできればいいかと思います。
- 初めての発表者・参加者をリピーターにできるよう、関わりをつなぐに高めていこうと思います。
- 12月第1土日の固定により、毎年自治体の大きな行事と重なり、参加できない（誘えない）人がいるのが残念です。教員も成績処理と重なり、参加しづらい時期ですね。しかし、変更すると今まで参加できていた人が集えなくなる可能性もあるし、難しいところですね。
- 愛媛の大学の学生さんたちにも、たくさん参加してほしいなと思います。東雲女子短期大学の学生さんたちの積極的な参加ぶりには感心しました。
- 進行の堺さんの声が聞き取りにくいときがありました。会場の音響のせいなのかな？と思いましたが、音が割れていました。
- 大洲青少年交流の家の全面バックアップの力は大きいです。眞鍋所長さん、清水だいたいさんをはじめ、多くの方にお世話になりました。ありがとうございました。
- 「55の会」では、毎年、交流会での出番をいただきありがとうございます。いつもの「愉快的メンバー」と、今年は高校生・大学生の飛び入りもあり賑やかに行なえました。
- 県外組より、「あれだけのたくさんの参加者・人数をまとめていく運営力はすばらしい。内容も次の展開につながるものとなった。愛媛の皆さんに感謝です。」というメッセージあります。

- ・ 今回は特に学生の中に大人が混じっているような雰囲気があり、他では感じることはない若い力を実感できた気がします。実行委員の皆様、大変お世話になりました。
- ・ 企画運営、そして全体調整等をしていただいている事務局のみなさまには頼り切りで申し訳ないなという思いでいっぱいです。純粹に参加して、楽しい面白いと思える企画として、これからも続いていくべき活動だと思います。
- ・ 毎年学生さんが全員スーツで来られるのは気持ちがきちんとして心地よいのですが、普段着で来ていただくと、個性が出て面白いのになあ。とも思います。会の内容には全く関係ないですが、全員「普段着で参加」というドレスコードはいかがでしょう？